

令和2年7月26日(日) 夏越の大祓神事

新型コロナウイルスの影響で夏祭りは中止され、神事のみ行われました。稲荷神社神事は招待者無しで、また夏越の大祓神事は雨予報のため拝殿で行われました。



小雨の中 茅(ち)の輪の作成 (24日 10:41)



雨の中 茅の輪の設置 (25日 10:25)



土岐一稲荷神事 (8:33)



祝詞奏上



玉串奉奠



夏越の大祓神事 (9:56)



全員で、大祓詞 (おはらえのことば) を奏上



人形代 (ひとかたしろ) 祓い

- ①頭より足先まで丁寧に体を人形代で撫でる。
- ②息を吹きかけることで自分の罪穢れを移します。



祝詞奏上



巫女舞奉納



宮司 玉串奉奠



最高顧問 玉串奉奠



区長 玉串奉奠



宮司挨拶



人形代を竹筒に奉納 (10:58)



茅の輪ぐり (11:04)

「夏越の大祓 (なごしのおおはらえ)」は、知らず知らず身についた罪穢れを祓い清める神事です。

全員で、[大祓詞 \(おおはらえのことば\)](#) を奏上し、全身を祓い清め、罪穢れを人形代 (ひとかたしろ) に移し、神社に納めることにより清々しい心身によみがえります。茅の輪を三回くぐると健康と長寿が叶うといわれています。(地域により車形代・家形代・犬形代などもあります)

※「茅(ち)」というのは、チガヤという植物の古名です。[\(wikipedia\)](#) 「茅巻き」も昔はチガヤの葉を使ったそうです。

「茅(かや)・萱(かや)」はチガヤ、スゲ、ススキなどの総称です。[\(wikipedia\)](#)